Ⅲ　参考資料

調査票　（１）診療所.....56
（２）病院.....58
（３）歯科診療所.....61
（４）在宅患者訪問薬剤管理指導薬局.....63
（５）居宅介護支援事業所.....65
（６）訪問看護ステーション.....68
（７）地域包括支援センター.....71
（８）高齢者施設.....73
・老人保健施設
・特別養護老人ホーム
・グループホーム
・小規模多機能型居宅介護事業所
平成 25 年度桜井保健所地域在宅医療・地域包括ケア連携ワーキング会議要領.....75
平成 25 年度桜井保健所地域在宅医療・地域包括ケア連携ワーキング会議名簿.....76

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（診療所用）

記入にあたってのお願い
- 診療所の医師の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月１日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

診ー	メール アドレス	
記載者氏名		

〈貴院の概要〉

1　貴院の主たる診療科を１つだけ選択ください。

□①内科　□②精神科　□③整形外科　□④外科　□⑤皮膚科　□⑥泌尿器科

□⑦小児科　□⑧耳鼻咽喉科　□⑨その他（　　）

2　貴院は無床診療所ですか。有床診療所ですか。

□①無床診療所　□②有床診療所(届出病床数：　床）

3　併設施設・併設事業所がありますか。（＊複数回答可）

□①ない　□②通所リハ　□③通所介護　□④居宅介護支援事業所

□⑤訪問看護ステーション　□⑥介護老人保健施設　□⑦特別養護老人ホーム

□⑧その他（　　）

4　診療所の医師の人数について記入ください。

	常勤医の人数・年齢	定期的に診療する 非常勤医の人数・年齢
医師 （院長を含む）	人 （年齢内訳） 20歳代（　人） 30歳代（　人） 40歳代（　人） 50歳代（　人） 60歳代（　人） 70歳代（　人） 80歳代（　人）	人 （年齢内訳） 20歳代（　人） 30歳代（　人） 40歳代（　人） 50歳代（　人） 60歳代（　人） 70歳代（　人） 80歳代（　人）

〈在宅に関する評価〉

5　在宅医療に対するイメージについて、該当するものを１つ選択ください。

1．在宅医療に関心がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
2．現在の立場で在宅医療への取組みを増やしたい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
3．在宅医療は十分な医療が提供できない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
4．緩和ケア・在宅看取りへの対応は困難	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
5．在宅医療は医師の時間的拘束の負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
6．患者と１対１で診療にあたることに不安がある（何かあった時の証人がいない）	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
7．医療費の患者負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
8．家族の介護負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
9．在宅医療について理解している病院医師は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
10．在宅医療へ従事する医師の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
11．在宅医療を受ける患者の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
12．在宅医療を受ける家族の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
13．在宅医療を望む患者は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
14．在宅医療をするには複数の医師で分担する必要がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
15．今後在宅医療は推進すべきである	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

〈在宅の実施状況〉

6　貴院では在宅医療（訪問診療　*往診は入りません）を行っていますか。

□①はい
□②今は行っていないが依頼があればすぐ（３日以内）に可能　→　質問7へ
□③行っていないが今後行う予定
□④いいえ（今のところは行う予定はない）　→　質問８へ

7　在宅医療で対応可能な疾患・処置について、該当するものを選択ください。また、相談できる専門家の有無について、該当するところを選択ください。

	□①実施できている	□②実績はないが実施可能と思われる	□③できない	この処置や治療について相談できる専門家がいる	
1．末期がん（看取り）	□①	□②	□③	□いる	□いない
2．末期がん（モルヒネを使用した疼痛緩和）	□①	□②	□③	□いる	□いない
3．褥瘡	□①	□②	□③	□いる	□いない
4．経管栄養　①（経鼻）	□①	□②	□③	□いる	□いない
②（胃瘻・腸瘻）	□①	□②	□③	□いる	□いない
5．人工肛門	□①	□②	□③	□いる	□いない
6．中心静脈栄養	□①	□②	□③	□いる	□いない
7．人工呼吸器					
①気管切開下陽圧人工呼吸（ＴＰＰＶ）	□①	□②	□③	□いる	□いない
②非侵襲的陽圧人工呼吸（ＮＰＰＶ）	□①	□②	□③	□いる	□いない
8．気管切開のみ	□①	□②	□③	□いる	□いない
9．尿留置カテーテル（膀胱瘻・腎瘻含）	□①	□②	□③	□いる	□いない
10．吸引（気管切開以外）	□①	□②	□③	□いる	□いない
11.小児（上記4から10のような医療処置が必要）	□①	□②	□③	□いる	□いない

8　貴診療所の現在の訪問診療の患者数と、現体制のままで1ヶ月間に対応可能な患者(2週間に1回程度の訪問診療で可能な安定期の患者)の最大数を選択ください。

現在実施している在宅患者数	対応可能な在宅患者数（予測数）
□①　0人	□①　患者の強い希望があれば1～2人可能
□②　1～2人	□②　5人未満
□③　3～9人	□③　5～9人
□④　10～19人	□④　10～19人
□⑤　20～29人	□⑤　20～29人
□⑥　30人以上	□⑥　30人以上
	□◎　取り組むつもりはない

〈連携の状況〉

9　在宅医療（診療技術、診療報酬等）、介護サービス、福祉サービスなどについて、自院以外で気軽に相談ができる機関が何カ所ぐらいあるかを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
2．病院（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
3．歯科診療所	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
4．薬局	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
6．医療機関（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
8．地域包括支援センター	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
9．介護老人保健施設	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
11．グループホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
12．その他（　　）		□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上

10　在宅医療を実施するにあたって、下記にある１～６の事業所・施設の何カ所くらいと連携してこられましたか。
連携機関数の該当するところを選択ください。在宅医療を提供されていない場合は□◎を選択ください。

1．病院	□①０	□②１カ所	□③２カ所以上
2．診療所	□①０	□②１カ所	□③２カ所以上
3．歯科診療所	□①０	□②１カ所	□③２カ所以上
4．訪問看護ステーション	□①０	□②１カ所	□③２カ所以上
5．居宅介護支援事業所	□①０	□②１カ所	□③２カ所以上
6．地域包括支援センター	□①０	□②１カ所	□③２カ所以上
7．その他（　　）		□②１カ所	□③２カ所以上

□◎　在宅医療を提供しないので該当しない

11　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院（医師）	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．歯科診療所	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．薬局	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．医療機関（看護師）	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．居宅介護支援事業所	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．地域包括支援センター	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．介護老人保健施設	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．特別養護老人ホーム	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．グループホーム	□①とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．その他（　　）				

12 訪問診療や往診で対応中の患者が、緊急入院が必要となった場合の受け入れ先の確保について、該当するところを１つ選択ください。

□①　容易に入院先を確保できる
□②　概ね確保できているが時々苦労する　→　確保している施設を選んでください
□③　しばしば苦労している
□④　その都度苦労している
　　□ i　自診療所
　　□ ii　自診療所以外の診療所
　　□ iii　病院
□⑤　緊急入院が必要になったことは今までほとんどない
□⊚　在宅医療は提供しないので該当しない

13 在宅医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．地域の医師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．24時間体制に協力可能な医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．在宅医のための研修システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．在宅の診療が可能な歯科医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．24時間体制の麻薬処方ができる薬局の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．24時間体制の訪問看護ステーションの存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．在宅医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．入院患者が円滑に在宅移行できるような病院の取組	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
15．その他（　　）				

14 在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（病院用）

記入にあたってのお願い
- 病院の地域医療連携室（退院調整（支援）担当）の管理者の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月1日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

病一	メール アドレス	
記載者役職名・氏名		

1　病床数はいくつですか。該当するところを選択ください。

□①２０～９９床　□②１００～２９９床　□③３００～４９９床　□④５００床以上

2　併設施設・併設事業所があれば選択ください。（＊複数回答可）

□①ない　□②通所リハ　□③通所介護　□④居宅介護支援事業所

□⑤訪問看護ステーション　□⑥介護老人保健施設　□⑦特別養護老人ホーム

□⑧その他（　　）

3　地域医療連携室等（退院調整（支援）の窓口となる部署）の設置がありますか。

□①設置していない　→　質問5へ
□②設置している　□③設置していないが担当者がいる　→　質問4へ

4　退院調整（支援）を担当している職員の職種と人数、専任・兼任の別について記入してください。

	医師	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	介護支援専門員	医療事務	その他
専任	人	人	人	人	人	人	人
兼任	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

5　病棟内に退院調整（支援）の担当者がいますか。

□①いない

□②いる →

その方の職種を一つ選んでください。
□①医師　□②看護師　□③その他（　　）

その内容を選んでください。（＊複数回答可）
□①地域医療連携室（担当者）に繋ぐ
□②その他（　　）

〈在宅に関する評価〉

6　在宅医療に対するイメージについて、該当するものを１つ選択ください。

1．病棟医師の在宅移行への意識は高まっている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
2．病棟看護師の在宅移行への意識は高まっている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
3．退院支援を必要な患者が、退院支援がもれている事例がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
4．退院支援の要否に関わる医療従事者のアセスメントの質を向上させる必要がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
5．退院にむけての院内のルールや仕組み（退院支援マニュアル等）があり、退院支援の一連の流れがある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
6．医療依存度が高い患者の在宅は困難	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
7．家族の介護負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
8．在宅で緩和ケアや看取りの対応は困難	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
9．在宅医療では十分な医療が提供できない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
10．地域の在宅医療のニーズが増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
11．患者・家族に、在宅でできることを知っておいてほしい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
12．今後在宅医療は推進すべき	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

〈在宅の実施状況〉

7　以下のような要因で、在宅移行が困難であったケースが、この1年間でありましたか。該当するものを選択ください。

1．本人は在宅を望んだが、家族が望んでいなかった	□① ない	□② 時々ある	□③よくある（　　人位）
2．訪問診療してくれる医師が見つからなかった	□① ない	□② 時々ある	□③よくある（　　人位）
3．訪問看護が確保できなかった	□① ない	□② 時々ある	□③よくある（　　人位）
4．在宅介護サービスを十分そろえられなかった	□① ない	□② 時々ある	□③よくある（　　人位）
5．住環境が整わなかった（例：バリアフリー化が困難）	□① ない	□② 時々ある	□③よくある（　　人位）
6．その他（　　）		□② 時々ある	□③よくある（　　人位）

〈連携の状況〉

8　在宅医療（診療技術、診療報酬等）、介護サービス、福祉サービスなどについて、同一法人以外の専門的な相談ができる機関が何カ所ぐらいあるか１つを選択ください。

1．診療所（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
2．病院（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
3，歯科診療所	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
4．薬局	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
6．医療機関（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
8．地域包括支援センター	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
9．介護老人保健施設	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
11．グループホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
12．その他（　　）		□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上

9　在宅医療を実施するにあたって、下記にある１～６の事業所・施設の何カ所くらいと連携してこられましたか。連携機関数の該当するところを選択ください。

1．病院	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
2．診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
3．歯科診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
4．訪問看護ステーション	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
5．居宅介護支援事業所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
6．地域包括支援センター	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
7．その他（　　）		□② １カ所	□③ ２カ所以上

10　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3，歯科診療所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．薬局	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護ステーション（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．医療機関（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．居宅介護支援事業所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．地域包括支援センター	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．介護老人保健施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．特別養護老人ホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．グループホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．その他（　　）				

11　在宅医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．地域の医師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．24時間体制に協力可能な医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．在宅医のための研修システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．在宅の診療が可能な歯科医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．24時間体制の麻薬処方ができる薬局の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．24時間体制の訪問看護ステーションの存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．在宅医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．入院患者が円滑に在宅移行できるような病院の取組	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
15．その他（　　）				

12　在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（歯科診療所用）

記入にあたってのお願い
- 歯科診療所の歯科医師の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月1日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

歯ー	メール アドレス	
記載者氏名		

〈貴診療所の概要〉

1　併設施設・併設事業所がありますか。（＊複数回答可）

□①ない　□②通所リハ　□③通所介護　□④居宅介護支援事業所

□⑤訪問看護ステーション　□⑥介護老人保健施設　□⑦特別養護老人ホーム

□⑧その他（　　）

2　歯科医師・歯科衛生士の人数について記入ください。

	常勤の人数・年齢	定期的に診療・従事する 非常勤の人数
1．歯科医師 （院長を含む）	人 （年齢内訳） 20歳代（　　人） 30歳代（　　人） 40歳代（　　人） 50歳代（　　人） 60歳代（　　人） 70歳代（　　人） 80歳代（　　人）	人 （年齢内訳） 20歳代（　　人） 30歳代（　　人） 40歳代（　　人） 50歳代（　　人） 60歳代（　　人） 70歳代（　　人） 80歳代（　　人）
2．歯科衛生士	人	人

〈在宅歯科医療の実施状況〉

3　貴診療所では在宅歯科医療（訪問歯科診療）を行っていますか。

□①はい　（不定期も含む）
□②行っていないが今後行う予定　→ 質問4へ
□③いいえ（今のところは行う予定はない）　→ 質問9へ

〈在宅歯科医療の問題点〉

4　在宅歯科医療を行っていく際の問題点について、該当するものを1つ選択ください。

1．在宅歯科医療では十分な医療が提供できない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
2．医療安全や医療訴訟の面で不安がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
3．在宅歯科医療は歯科医師の時間的拘束の負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
4．在宅歯科医療を行うための歯科衛生士の確保が難しい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
5．在宅歯科医療用の装置・器具の購入にコストがかかる	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
6．医療保険請求の確認等事務処理に困難がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
7．介護保険請求の確認等事務処理に困難がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

〈在宅歯科医療の実施状況〉

5　在宅歯科医療を実施している訪問先について、該当するものを選択ください。（※複数回答可）

□①　施設（特養、老健等）
□②　患者自宅
□③　病院（診療所）
□④　その他（　　）

6　貴診療所で在宅歯科医療を行っている現在の患者数、及び現体制のままで1ヶ月間に対応可能な患者の最大数を選択ください。

現在実施している在宅患者数	対応可能な在宅患者数（予測数）
□①　0人	□①　1～2人
□②　1～2人	□②　3～9人
□③　3～9人	□③　10～19人
□④　10～19人	□④　20～29人
□⑤　20～29人	□⑤　30人以上
□⑥　30人以上	

〈連携の状況〉

7　在宅医療（診療技術、診療報酬等）、介護サービス、福祉サービスなどについて、同一法人以外で気軽に相談ができる機関は何カ所ぐらいあるかを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
2．病院（医師）	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
3，歯科診療所	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
4．薬局	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
6．医療機関（看護師）	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
8．地域包括支援センター	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
9．介護老人保健施設	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
11．グループホーム	□①０カ所	□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上
12．その他（　　）		□②1 カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤５カ所以上

8　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところをお選びください。

1．診療所（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3，歯科診療所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．薬局	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護ステーション（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．医療機関（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．居宅介護支援事業所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．地域包括支援センター	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．障がい者（児）施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．介護老人保健施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．特別養護老人ホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．グループホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．その他（　　）				

9　在宅歯科医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所の医師の在宅歯科医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院の医師の在宅歯科医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．地域の歯科医師の在宅歯科医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．歯科衛生士の在宅歯科医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護師の在宅歯科医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．ケアマネージャーの在宅歯科医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．歯科医師のための在宅での研修システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．在宅歯科医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．その他（　　）				

10 在宅医療・在宅歯科医療についてのご意見、希望される研修内容等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査（薬局用）

記入にあたってのお願い
- 薬局の管理薬剤師の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月１日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　岡井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

薬一	メール アドレス	
記載者氏名		

〈貴薬局の概要〉

1　貴薬局の薬剤師の人数を記入ください。

薬剤師数	常勤　　人	非常勤　　人

2　麻薬小売業の免許を取得していますか。

□①　届出している
□②　今後届出したい
□③　届出は考えていない

〈在宅に関する評価〉

3　貴薬局がもつ在宅医療に対するイメージについて、該当するものを１つ選択ください。

1．在宅医療に関心がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
2．在宅医療は十分な医療が提供できない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
3．緩和ケア・在宅看取りへの対応は困難	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
4．在宅医療に従事する薬剤師の時間的拘束の負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
5．在宅医療における薬剤師の必要性を理解している医師は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
6．在宅医療における薬剤師の必要性を理解しているケアマネージャーは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
7．在宅における薬剤費の患者負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
8．家族の介護負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
9．在宅医療へ従事する薬剤師の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
10．在宅医療で薬剤師の訪問を受ける患者の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
11．在宅医療で薬剤師の訪問を受ける家族の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
12．在宅で薬剤師の訪問を望む患者は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
13．今後在宅医療は推進すべきである	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

〈在宅の実施状況〉

4　保険請求の有無に関わらず在宅医療（在宅患者を訪問し、服薬説明等）を実施していますか。

□①はい　→　質問５へ
□②今は行っていないが依頼があればすぐ（３日以内）に可能
□③行っていないが今後行う予定　→　質問６へ
□④いいえ（今後も行う予定はない）

5　在宅医療における服薬指導を実施している訪問先について、該当するものを選択ください。（※複数回答可）

□①　施設（特養、ケアハウス、グループホーム等）
□②　患者自宅
□③　病院（診療所）
□④　その他（　　）
□◎　在宅薬剤指導を実施していないので該当しない

6　医療材料等供給支援事業を実施したいと思いますか。

□①はい
□②今後検討したい
□④いいえ（今後も行う予定はない）

7　貴薬局の現在の在宅医療における服薬指導患者数と、現体制のままで1ヶ月間に対応可能な患者の最大数を選択ください。

現在実施している在宅患者数	対応可能な在宅患者数
□①　０人	□①　患者の強い希望があれば１～２人可能
□②　１～２人	□②　５人未満
□③　３～9人	□③　５～9人
□④　10～１９人	□④　10～１９人
□⑤　20～２９人	□⑤　20～２９人
□⑥　30人以上	□⑥　30人以上
	□◎　取り組むつもりはない

〈連携の状況〉

8　在宅医療、介護サービス、福祉サービスなどについて、気軽に相談ができる人が何カ所ぐらいあるかを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
2．病院（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
3．歯科診療所	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
4．薬局	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
6．医療機関（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
8．地域包括支援センター	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
9．介護老人保健施設	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
11．グループホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上
12．その他（　　）		□②1カ所	□③２カ所	□④3～４カ所	□⑤５カ所以上

9　在宅医療を実施するにあたって、下記にある１～４の事業所・施設の何カ所くらいと連携してこられましたか。
連携機関数の該当するところを選択ください。在宅医療を提供されていない場合は□◎を選択ください。

１．診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
２．病院	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
３．歯科診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
４．訪問看護ステーション	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
５．居宅介護支援事業所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
４．訪問介護サービス事業所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
５．その他（　　）	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上

□◎　在宅医療を提供しないので該当しない

10　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
２．病院（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
３．歯科診療所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
４．薬局	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
５．訪問看護ステーション（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
６．医療機関（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
７．居宅介護支援事業所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
８．地域包括支援センター	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
９．介護老人保健施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．特別養護老人ホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．グループホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．その他（　　）				

11　在宅医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

１．地域の医師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
２．地域の薬剤師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
３．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
４．24時間体制に協力可能な医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
５．在宅の診療が可能な歯科医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
６．24時間体制の麻薬処方ができる薬局の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
７．24時間体制の訪問看護ステーションの存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
８．緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
９．在宅医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．入院患者が円滑に在宅移行できるような病院の取組	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
15．その他（　　）				

12　在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（居宅介護支援事業所用）

記入にあたってのお願い
- 居宅介護支援事業所の管理者の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月1日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

事業所名				所在市町村名	
記載者氏名		メール アドレス			

〈貴事業所の概要〉

1　貴事業所の設置主体を１つだけ選択ください。

□①医療法人　□②社会福祉法人　□③有限（株式）会社　□④社団・財団法人

□⑤その他（　　）

2　併設施設・併設事業所がありますか。（＊複数回答可）

□①ない　□②通所リハ　□③通所介護　□④居宅介護支援事業所　□⑤訪問介護

□⑥介護老人保健施設　□⑦特別養護老人ホーム　□⑧その他（　　）

3　貴事業所職員の職種別人数と、専任・兼任の別について下表に記入ください。

		①福祉系資格をもつ介護支援専門員	②福祉系資格をもつ主任介護支援専門員	③医療系資格をもつ介護支援専門員	④医療系資格をもつ主任介護支援専門員	⑤事務員	⑥その他の従業員
スタッフ数	専任						
	兼任						
	計						

〈在宅に関する評価〉

4　在宅医療に対するイメージについて、該当するものを１つ選択ください。

1．医療依存度が高い患者の在宅は困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
2．在宅で緩和ケアや看取りの対応は困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
3．医療費の患者負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
4．家族の介護負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
5．医師との連携は敷居が高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
6．訪問看護との連携は敷居が高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
7．地域医療連携室（連携担当者）のない病院との連携は困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
8．入院初期に介護支援専門員と医療連携ソーシャルワーカーの連携が必要である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
9．困難事例において地域包括支援センターの活用や相談をしている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
10．独居高齢者や老々介護などでは、介護支援が充実すれば在宅医療・介護は可能である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
11．訪問看護導入の必要性を理解しているケアマネジャーは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
12．予防的視点での訪問看護導入するケアマネジャーは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
13．ケアマネジャーは訪問看護を導入することのメリットを患者・家族に十分説明できている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
14．在宅歯科医療の必要性を理解しているケアマネージャーは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
15．在宅医療における薬剤師の必要性を理解しているケアマネージャーは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
16．医療知識（用語を含む）の不足が業務に支障をきたしている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
17．医療依存度の高いケースのアセスメントは苦手意識がある	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
18．ケアプランは必要に応じて職場内の他のスタッフと相談しながら作成している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
19．ケアプラン作成時は医師、看護師の意見を十分もらっている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
20．医療知識を学ぶ場（機会）が多い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
21．教育機会がもっと必要である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
22．研修会や勉強会にはあまり参加できない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
23．サービス担当者会議の日程調整に多大な時間と手間がかかる	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
24．他機関との情報共有に多大な時間と手間がかかっている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
25．貴事業所において、医療依存度が高いケースへの対応能力は向上している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

26. 在宅医療を受ける患者の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
27. 在宅医療を受ける家族の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
28. 地域の在宅医療のニーズが増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
29. 今後在宅医療は推進すべきである	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

5　退院時の在宅移行がスムーズにいかない要因と考えられるものを１つ選択ください。

1．患者・家族に介護保険の理解が不足している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
2．病院スタッフに介護保険の理解が不足している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
3．情報があっても医療アセスメントが困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
4．医療職であっても最近の治療に関する知識が不足している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
5．患者・家族が在宅への不安が強い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
6．病院スタッフが在宅への不安が強い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
7．患者・家族が利用できるサービスを知らない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
8．病院スタッフが利用できるサービスを知らない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
9．地域サービス事業所の受け入れが困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
10．在宅移行にあたっての病院からの連絡が遅い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
11．担当の介護支援専門員がいない（介護保険未利用）	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
12．独居や老々介護	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
13．その他（　　）				

〈在宅の実施状況〉

6　貴事業所の加算項目について該当するものを選択ください。

加算項目	届出の有無		届出ありの場合の保険請求の有無(H25年　月～月)	
1.特定事業所加算（Ⅰ）の加算の有無	□①あり	□②なし	□①あり	□②なし
2.特定事業所加算（Ⅱ）の加算の有無	□①あり	□②なし	□①あり	□②なし
3.入院時情報連携加算の有無			□①あり	□②なし
4.退院・退所加算の有無			□①あり	□②なし
5.独居高齢者加算の有無			□①あり	□②なし
6.緊急時等居宅カンファレンス加算			□①あり	□②なし

7　下記の病態の患者について、貴事業所における対応の状況で該当するものを１つ選択ください。

	□①対応できている	□②実績はないが実施可能と思われる	□③できない
1．末期がん（看取り）患者	□①	□②	□③
2．末期がん（疼痛緩和）患者	□①	□②	□③
3．褥瘡ケアが必要な患者	□①	□②	□③
4．経鼻栄養の管理が必要な患者	□①	□②	□③
5．胃瘻・腸瘻の管理が必要な患者	□①	□②	□③
6．人工肛門の管理が必要な患者	□①	□②	□③
7．中心静脈栄養の管理が必要な患者	□①	□②	□③
8．人工呼吸器をつけている患者	□①	□②	□③
9．尿留置カテーテル（膀胱瘻・腎瘻含）の管理が必要な患者	□①	□②	□③
10．吸引（気管切開以外）が必要な患者	□①	□②	□③
11.精神疾患患者	□①	□②	□③
12.難病患者	□①	□②	□③

〈連携の状況〉

8　医療・介護サービス、福祉サービスなどについて、同一法人以外で気軽に相談ができる機関が何カ所ぐらいあるか１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
2．病院（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
3，歯科診療所	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
4．薬局	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
6．医療機関（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
8．地域包括支援センター	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
9．介護老人保健施設	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
11．グループホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
12．その他（　　）		□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上

9　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3，歯科診療所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．薬局	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護ステーション（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．医療機関（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．居宅介護支援事業所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．地域包括支援センター	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．介護老人保健施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．特別養護老人ホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．グループホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．その他（　　）				

10　在宅医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．地域の医師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．24時間体制に協力可能な医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．在宅の診療が可能な歯科医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．24時間体制の麻薬処方ができる薬局の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．24時間体制の訪問看護ステーションの存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．医療機器のレンタル・購入の充実（価格、内容等）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．在宅医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．入院患者が円滑に在宅移行できるような病院の取組	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
15．その他（　　）				

11　在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（訪問看護ステーション用）

記入にあたってのお願い
- 訪問看護ステーションの管理者の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月1日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

事業所名		所在市町村名	
記載者氏名		メール アドレス	

〈貴ステーションの概要〉

1　貴ステーションの設置主体を１つだけ選択ください。

□①医療法人　□②社会福祉法人　□③看護協会　□④有限（株式）会社

□⑤その他（　　）

2　併設施設・併設事業所がありますか。（＊複数回答可）

□①ない　□②通所リハ　□③通所介護　□④居宅介護支援事業所　□⑤訪問介護

□⑥介護老人保健施設　□⑦特別養護老人ホーム　□⑧その他（　　）

3　貴ステーションの職員の人数について記入ください。

職種	常勤職員の人数	非常勤職員の人数
1．保健師	人	人
2．看護師	人	人
3．准看護師	人	人
4．理学療法士	人	人
5．作業療法士	人	人
6．言語療法士	人	人
7．事務職員	人	人
8．その他（　　）	人	人
合　計	人	人

4　貴ステーションの届出加算項目についてお答えください。

		届出の有無		届出ありの場合の 算定（保険請求）有無	
医療保険	1．重症者管理加算	□①あり	□②なし	□ⅰあり	□ⅱなし
	2．24時間連絡体制加算	□①あり	□②なし	□ⅰあり	□ⅱなし
	3．24時間対応体制加算	□①あり	□②なし	□ⅰあり	□ⅱなし
介護保険	4．緊急時訪問看護加算	□①あり	□②なし	□ⅰあり	□ⅱなし
	5．特別管理加算	□①あり	□②なし	□ⅰあり	□ⅱなし

5　24時間対応に関する加算（上記質問4の2，3，4）を届出していないステーションにお伺いします。
届出を行わない理由を選択ください。（＊複数回答可）

□①　24時間体制に対応する人員を増やせない

□②　同一法人内に往診や在宅医療を行う医療機関がない

□③　地域に在宅医療を行う医療機関がない

□④　地域に24時間365日対応する在宅療養支援診療所がない

□⑤　病状変化時等に入院受け入れ体制がない

□⑥　実態としては行っているが、届出はしていない

□⑦　その他（　　）

〈在宅に関する評価〉

6　在宅医療や訪問看護に対するイメージについて、該当するものを１つ選択ください。

1．訪問看護導入の必要性を理解している診療所医師は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
2．訪問看護導入の必要性を理解している病院医師は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
3．訪問看護導入の必要性を理解している病院看護師は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
4．訪問看護導入の必要性を理解しているケアマネジャーは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
5．訪問看護の必要性を理解している患者・家族は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
6．地域の在宅医療のニーズは増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
7．予防的視点での訪問看護導入は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
8．医療依存度の高い患者には、退院前からの関わりをもつことが必要	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
9．医療費の患者負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
10．家族の介護負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
11．在宅医療へ従事する看護師の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
12．在宅医療を受ける患者の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
13．在宅医療を受ける家族の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
14．他機関との情報共有には時間と手間がかかっている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない
15．今後在宅医療は推進すべきである	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない	□⑤わからない

〈訪問看護の実施状況〉

7　訪問看護で対応可能な疾患・処置について、該当するものを１つ選択ください。

	□①実施できている	□②実績はないが実施可能と思われる	□③できない
1．末期がん（看取り）	□①	□②	□③
2．末期がん（疼痛緩和）	□①	□②	□③
3．褥瘡	□①	□②	□③
4．経管栄養　①経鼻	□①	□②	□③
②胃瘻・腸瘻	□①	□②	□③
5．人工肛門	□①	□②	□③
6．中心静脈栄養	□①	□②	□③
7．人工呼吸器 ①気管切開下陽圧人工呼吸	□①	□②	□③
②非侵襲的陽圧人工呼吸	□①	□②	□③
8．気管切開のみ	□①	□②	□③
尿留置カテーテル（膀胱瘻・腎瘻含）	□①	□②	□③
10．腹膜透析	□①	□②	□③
11．吸引（気管切開以外）	□①	□②	□③
12．小児	□①	□②	□③
13．精神疾患患者	□①	□②	□③
14．難病患者	□①	□②	□③

〈連携の状況〉

8　介護サービス、福祉サービスなどについて、同一法人以外で気軽に相談ができる機関が何カ所ぐらいあるか１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
2．病院（医師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
3．歯科診療所	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
4．薬局	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
6．医療機関（看護師）	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
8．地域包括支援センター	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
9．介護老人保健施設	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
11．グループホーム	□①０カ所	□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
12．その他（　　）		□②1カ所	□③２カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上

9　訪問看護を実施するにあたって、下記にある１～4の事業所・施設の何カ所くらいと連携してこられましたか。
連携機関数の該当するところを選択ください。在宅医療を提供されていない場合は□⓪を選択ください。

1．病院	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
2．診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
3．歯科診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
4．訪問看護ステーション	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
5．居宅介護支援事業所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
6．地域包括支援センター	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
7．その他（　　）		□② １カ所	□③ ２カ所以上

10　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．歯科診療所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．薬局	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護ステーション（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．医療機関（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．居宅介護支援事業所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．地域包括支援センター	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．介護老人保健施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．特別養護老人ホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．グループホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．その他（　　）				

11　在宅医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．地域の医師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．24時間体制に協力可能な医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．在宅の診療が可能な歯科医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．24時間体制の麻薬処方ができる薬局の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．24時間体制の訪問看護ステーションの存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．在宅医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．入院患者が円滑に在宅移行できるような病院の取組	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．その他（　　）				

12　在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（地域包括支援センター用）

記入にあたってのお願い
- 地域包括支援センターの管理者の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月1日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

センター名				所在市町村名	
職種		記載者氏名		メール アドレス	

〈貴事業所の概要〉

1　貴センターの設置主体を1つだけ選択ください。

□①市町村　□②社会福祉協議会　□③社会福祉法人　□⑤社団・財団法人
□④その他（　　）

2　併設施設・併設事業所がありますか。（＊複数回答可）

□①ない　□②通所リハ　□③通所介護　□④居宅介護支援事業所　□⑤訪問介護
□⑥介護老人保健施設　□⑦特別養護老人ホーム　□⑧その他（　　）

3　貴センター職員の職種別人数と、専任・兼任の別について下表に記入ください。

		①保健師	②看護師	③主任介護支援専門員	④介護支援専門員	⑤社会福祉士	⑥事務員	⑦その他の従業員
スタッフ数	専任							
	兼任							
	計							

〈在宅に関する評価〉

4　在宅医療に対するイメージについて、該当するものを1つ選択ください。

1．医療依存度が高い患者の在宅は困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
2．在宅で緩和ケアや看取りの対応は困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
3．医療費の患者負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
4．在宅医療にかかる患者負担金がわからない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
5．家族の介護負担が大きい	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
6．医師との連携は敷居が高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
7．訪問看護との連携は敷居が高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
8．地域医療連携室（連携担当者）のない病院との連携は困難である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
9．入院初期に地域包括支援センター職員と医療連携ソーシャルワーカーの連携が必要である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
10．独居高齢者や老々介護などでは、介護支援が充実すれば在宅医療・介護は可能である	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
11．訪問看護導入の必要性を理解している患者・家族は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
12．在宅歯科医療の必要性を理解している患者・家族は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
13．在宅医療における薬剤師の必要性を理解している患者・家族は増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
14．サービス担当者会議の日程調整に多大な時間と手間がかかる	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
15．他機関との情報共有に多大な時間と手間がかかっている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
16．在宅医療を受ける患者の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
17．在宅医療を受ける家族の満足度は高い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
18．地域の在宅医療のニーズが増えている	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
19．今後在宅医療は推進すべきである	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない

5　退院時の在宅移行がスムーズにいかない要因と考えられるものを１つ選択ください。

1．患者・家族に介護保険の理解が不足している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
2．病院スタッフに介護保険の理解が不足している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
3．患者・家族が在宅への不安が強い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
4．病院スタッフが在宅への不安が強い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
5．患者・家族が利用できるサービスを知らない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
6．病院スタッフが利用できるサービスを知らない	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
7．在宅移行にあたっての病院からの連絡が遅い	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
8．在宅移行にあたっての病院からの情報が不足している	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
9．担当の介護支援専門員がいない（介護保険未利用）	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
10．独居や老々介護	□①そう思う	□②少しそう思う	□③あまり思わない	□④思わない
11.その他（　　）				

〈実施状況〉

6　貴センターでの実施状況を選択ください。

1.利用者が入院した場合、職員が病院を訪問し職員に対し必要な情報を提供する	□ ①あり	□ ②なし
2.退院カンファレンスへの参加	□ ①あり	□ ②なし
3.利用者の居宅等での関係機関カンファレンスへの参加	□ ①あり	□ ②なし

〈連携の状況〉

7　医療・介護サービス、福祉サービスなどについて、同一法人以外で気軽に相談ができる機関が何カ所ぐらいあるか１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
2．病院（医師）	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
3，歯科診療所	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
4．薬局	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
5．訪問看護ステーション（看護師）	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
6．医療機関（看護師）	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
7．居宅介護支援事業所	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
8．地域包括支援センター	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
9．介護老人保健施設	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
10．特別養護老人ホーム	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
11．グループホーム	□① 0カ所	□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上
12．その他（　　）		□②1カ所	□③ 2カ所	□④3～4カ所	□⑤5カ所以上

8　以下の機関と連携をさらに強化するとき、困難を感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．診療所（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．病院（医師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3，歯科診療所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．薬局	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．訪問看護ステーション（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．医療機関（看護師）	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．居宅介護支援事業所	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．地域包括支援センター	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．介護老人保健施設	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．特別養護老人ホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．グループホーム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．その他（　　）				

9　在宅医療の充実のため以下の項目が必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．地域の医師の在宅医療に対する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．在宅医療従事者の人材育成システム	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．24時間体制に協力可能な医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．在宅の診療が可能な歯科医師の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．24時間体制の麻薬処方ができる薬局の存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．24時間体制の訪問看護ステーションの存在	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．ケアマネージャーの医療やアセスメントに関する理解の向上	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．在宅医療に関する住民への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．在宅医療に関する地域の民生委員等への啓発	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．介護福祉サービスの充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
12．入院患者が円滑に在宅移行できるような病院の取組	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
13．多職種との情報交換・顔合わせができる場	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
14．在宅療養の相談拠点	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
15．その他（　　）				

10 在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査　（高齢者施設用）

記入にあたってのお願い
- 施設の管理者の方が記入ください。
- 該当するところの□を✓でチェックして下さい。記入部分には記載をお願いします。
- 平成25年12月27日までに返信用封筒によりご返送ください。
- 時点については、平成25年12月1日現在でご記入下さい。
- ご回答いただいた内容は、実態把握や課題検討等に使用させていただきます。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：桜井保健所健康増進課　母子・健康推進係　　筒井・桝田
電話　0744-43-3131（内線265）
FAX　0744-46-3597

施設名		所在市町村名	
記載者氏名		メール アドレス	

1　貴施設の設置主体を１つだけ選択ください。

□①市町村　□②社会福祉協議会　□③社会福祉法人　□④社団・財団法人
□⑤その他（　　）

2　併設施設・併設事業所がありますか。（＊複数回答可）

□①ない　□②病院　□③通所リハ　□④通所介護　□⑤居宅介護支援事業所
□⑥訪問介護　□⑦介護老人保健施設　□⑧特別養護老人ホーム
□⑨その他（　　）

3　貴施設の入所者定員、ショートスティ定員は何人ですか。

入所定員	ショートスティ定員
人	人

4　貴施設の職種別人数と、専任・兼任の別について下表に記入ください。（ショートも含む）

		①看護師	②介護福祉士	③社会福祉士	④事務員	⑤その他の従業員
スタッフ数	専任	人	人	人	人	人
	兼任	人	人	人	人	人
	計	人	人	人	人	人

5　貴施設のショートスティで受け入れ可能な者を選択ください。（※複数回答可）

□①ショートスティを実施していない　□②認知症　□③麻薬使用中のがん患者
□④尿留置カテーテル中の者　□⑤経鼻栄養中の者　□⑥褥瘡（床ずれ）がある者
□⑦胃ろう挿入中の者　□⑧ＩＶＨ利用者　□⑨気管切開している者
□⑩腎ろう挿入中の者

6　貴施設で訪問看護を受けている入所者は1年間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）で何人いましたか。

（　　）人

7　貴施設において1年間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）で何人の方を看取りましたか。

（　　）人

8　入所者を看取る際して、下記にある1～4の事業所・施設の何カ所くらいと連携してこられましたか。
連携機関数の該当するところを選択ください。

1．診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
2．歯科診療所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
3．訪問看護ステーション	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
4．居宅介護支援事業所	□① ０	□② １カ所	□③ ２カ所以上
5．その他（　　）		□② １カ所	□③ ２カ所以上

9　貴施設で終末期の入所者を看取る場合、以下の項目を必要と感じますか。該当するところを１つ選択ください。

1．介護施設職員に対する教育・研修の充実	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
2．看取りについて職員間で共通理解（標準化）する必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
3．病院との連携を強化する必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
4．一般診療所との連携を強化する必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
5．歯科診療所との連携を強化する必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
6．訪問看護ステーションとの連携を強化する必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
7．医師を増やす必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
8．看護職員を増やす必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
9．介護職員を増やす必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
10．その他の職員を増やす必要がある	□① とても感じる	□②感じる	□③あまり感じない	□④感じない
11．その他（　　）				

10　終末期医療・在宅医療についてのご意見等がありましたらご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

平成 25 年度 桜井保健所地域在宅医療・包括ケア連携ワーキング会議要項

１　目　的

桜井保健所管内における在宅医療の推進にかかる地域の課題やニーズを把握し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療を提供するため、多職種協働による在宅医療の支援体制の構築及び充実強化を図る「桜井保健所地域在宅医療・包括ケア連携会議」の企画等実務的な検討を行う目的でワーキング会議を設置する。

２　実施主体

桜井保健所

３　実施日時

第 1 回　平成 25 年 8 月 22 日
第 2 回　平成 25 年 12 月 12 日
第 3 回　平成 26 年 2 月 19 日

４　内容

第1回ワーキング会議	第2回ワーキング会議	第3回ワーキング会議
・管内の現状の確認 ・課題整理 ・地域在宅医療・包括ケア連携会議の企画検討 ・「管内地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査」の調査票の検討	・地域在宅医療・包括ケア連携会議の開催要項の検討 ・市町村の取り組みの報告 ・「管内地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査」の事前調査の実施と結果報告 ・連携会議のすすめかたの検討	・各関係機関の現状の取り組み状況のまとめ ・連携会議での検討課題の確認

５　構成員

地域で在宅医療を実践する専門職・市町村行政職（別紙名簿）
(1)在宅医療に取り組む医師・歯科医師
(2)小児・難病・高齢者・精神疾患・感染症等の在宅医療に取り組む訪問看護師
(3)病院医師・看護師
(4)地域包括支援センター職員
(5)薬局薬剤師
(6)市町村関係課職員（保健・国民健康保険・介護・障害・児童福祉など）
(7)前各号に掲げるもののほか、特に必要があると認める者

平成25年度　桜井保健所地域在宅医療・包括ケア連携ワーキング会議名簿

（順位不同）

	所　属	氏　名
入院医療機関	済生会中和病院	宮高　和彦
	宇陀市立病院	仲川　喜之
	宇陀市立病院	竹下　尚美
在宅医	加藤クリニック	加藤　久和
	植田医院	植田　佳秀
	坂根医院	坂根　俊輔
	ちゅうわ往診クリニック	河田　安浩
歯科医	正田歯科医院	正田　晨夫
薬局	ノチオカ薬局	後岡　敬太朗
訪問看護師	橿原訪問看護ステーションやわらぎの郷 ホームナーシングセンター	石原　祐佳
	アンフィニ訪問看護ステーション	天笠　道代
地域医療連携室	奈良県立医科大学付属病院	栗田　麻美
	済生会中和病院	高橋　久子
地域包括支援センター	宇陀市地域包括支援センター	鴻池　通子
	桜井市地域包括支援センターきずな	堀　えり子
行政	桜井市健康推進課	川口　忠英
	宇陀市健康増進課	林　佳江

アドバイザー

	所　属	氏　名
介護老人保健施設	介護老人保健施設シルバーケアまほろば	籠島　忠

事務局

奈良県桜井保健所　健康増進課　母子・健康推進係

桜井保健所管内地域在宅医療・包括ケア連携に関する現状調査報告書

発　　行　　平成 26 年 3 月
奈良県桜井保健所
〒633-0062　奈良県桜井市粟殿 1000
奈良県桜井総合庁舎内
TEL　0744-43-3131(代)　　FAX　0744-46-3597

ホームページアクセス：奈良県桜井保健所　検索